



# スクールリポート

▶ 学校教育課  
☎23-3679

学校生活の  
一コマを  
紹介



## 「俳句を楽しもう！」 5・7・5に思いをのせて

高松小学校

高松小学校では、四季折々の自然を感じながら自分の思いを表出する力を養おうと、平成21年度から俳句作りに取り組んでいます。

5月の俳句教室から俳句作りがスタートします。講師の鈴木昌宏先生から「俳句上達の十か条」を伝授していただき、一緒に校庭を散策しながら俳句を作ります。地面に咲いているさまざまな草花や周りの景色から「たんぽぽ」・「四つ葉」・「散る桜」などの季語を入れて、子どもたちは思い思いにたくさんの句を詠みます。その中で一番気に入った句を持ち寄り学年みんなで詠み合う「クラス句会」を春・夏・秋・冬の計4回行い、季節の変化を感じていきます。加えて、夏からはクラスの代表作品を持ち寄り「全校句会」も行っています。全校みんなで俳句を味わうとき、ほんの少し文化人になった気がしています。本年度、夏と秋の全校句会で一席に入ったのは次の二句。

夏：「大空に ドーンと花火 空の花」 秋：「すすきたち 頭重くて おじぎ中」  
情景がまざまざと目に浮かんできて、子どもたちの感性の豊かさを感じます。



●校庭で俳句の題材探し



●夏の全校句会



## 「校内長距離走・駅伝大会」 力の限り走り抜く

赤羽根中学校

平成28年12月9日(金)に赤羽根ロングビーチで、校内長距離走・駅伝大会が行われました。砂浜で行われるこの大会は、赤羽根中学校の伝統行事となっています。11月末の期末テスト最終日から耐寒訓練が始まります。この時季は風が強く、その中での訓練となります。生徒たちは7分間、それぞれの目標をもって走り、本番に備えます。



●男子長距離走の部



●駅伝の部のスタート

さて、大会当日は快晴で無風。この時季の天候としてはまさに奇跡で、生徒たちにとっては絶好の日となりました。大会は、クラスごとに選ばれた選手が走る駅伝の部と、駅伝に出場しない生徒全員で走る長距離走の部の2つから構成されています。男子は1500m、女子は1000mを走ります。コースは、砂浜を折り返す直線コースです。折り返し地点に立てられた旗がかすむほどの距離です。生徒たちは、砂浜に足を取られ、激しく体力を奪われ苦労していました。それでも、クラスの仲間の応援を味方につけ、力の限り走る姿が見られました。優勝は、3年生のクラス。最高学年としての意地を見せました。

「最高の天気、最高の仲間、最高の思い出！」閉会式での体育委員のあいさつが印象的でした。